

MCT TTT コース設計書

名 称	MCT TTT
時間 × 日数	7 時間 × 3 日間 9:00～17:00
受講対象者	MCT 取得希望者
受講者の 想定スキル	MCAS 担当するアプリケーション合格済み ※ トレーナー経験は無い、または少ない方が多いと想定
形 態	6 名までの集合研修
使用テキスト	日経 BP 社 プロフェッショナル・トレーナーへの道 エイチ・アール・ディー研究所、MOT コミュニティ共著
機 材	・受講者は 1 人 1 台の PC を使い、講師用 PC の画面をプロジェクターに投影する ・ホワイトボードないしフリップボードを用意する ・ビデオ収録のための機材を準備する
環 境	・2007 Office system がインストールされていること ・ビデオ収録したデータを再生する環境を整えておくこと
ス タ ッ フ	メイン講師 1 名
研 修 の 目 的	MCT に必要なトレーナーとしてのスキルを身に付け、研修の現場で実装できる * 該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準(80%以上)に準拠
研 修 の 目 標	・MCT に必要なスキルを実務に実装する必要性が理解できる ・MCT に必要なスキルの基本を演習およびビデオ収録の中で実践できる * 該当するスキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準(80%以上)に準拠
最 終 評 価	3 日間を通して学習した内容を盛り込んだ詳細プランの作成と 20 分間のビデオ収録ができ、実務への実装の必要性を理解したことで達成とする
研 修 概 要	1. テキストを使って MCT として必要な知識とスキルを理解する スキル基準は、CTT+における 12 のスキル評価基準に準拠する 2. 学習した内容を、各演習で練習する ・各要素に分割して、積み上げるように学習していく ・各演習では、他の受講者および講師レビューを行う 3. 研修前の事前確認の重要性和コース設計から詳細プラン作成の概要を理解する 4. 各自のビデオ収録を行う範囲の詳細プランを作成する 5. 詳細プランについて、他の受講者および講師評価から改善点を把握する 6. 各自の詳細プランに 12 のスキル基準を実装するような改善案を出せる 7. 前半 2 日間の講義とディスカッションを通し、12 のスキル評価基準の重要ポイントを収録するビデオと実務で実装するにはどうしたらいいかを意見交換することによって理解を深める 8. 上記をもとに、3 日目に約 20 分間の模擬授業のビデオを収録する 9. 各自のビデオ収録内容について、他の受講者の感想、自己評価および講師の評価をもとに振り返りを行う